

②令和4年度当初予算

予算決算委員会 社会文教分科会 座長報告

令和4年3月17日 予算決算委員会後期全体会

○議案第25号

「令和4年度飯田市一般会計予算（案）」のうち分担分の審査の経過について、審査の概要

○3款 民生費、1項 社会福祉費、1目 社会福祉総務費 事業No.65 とともに未来を支え合うパートナーづくり事業について

【質疑】「カップル成立も結婚に結び付いていないと課題認識されているが、従前どおり進めていくのか」

【答弁】「この事業による婚姻数の把握が難しい状況あるが、カップリングが結婚への第1段階と考えて取り組みは継続する。また、今年度から新たに結婚後の新生活支援として補助事業を実施する」との答弁がありました。続いて、「その結婚新生活支援事業補助金の内容は」との質疑があり、「結婚後の新生活支援として、29歳以下は上限60万円、39歳以下は上限30万円の新築や家賃等にかかる経費を補助する」

○3款 民生費、1項 社会福祉費、3目 障害福祉費 事務No.74 障害福祉サービス等給付事業について

【質疑】「発達障がい児が年々増加傾向にあると課題認識されているが、その原因の分析は」

【答弁】「教育委員会などと連携して取り組みを始めたところであり、分析や詳細な内容の把握は現状のところできていない」

【質疑】「分析にかかる予算措置は」

【答弁】「発達障がいについては、子どもは子育て支援課、成人は福祉課が中心となって対応しているが、分析については今後の課題」

○3款 民生費、1項 社会福祉費、4目 老人福祉費

事業No.76 飯田広域シルバー人材センター運営補助事業について

【質疑】「受注件数が年々減少していることから、運営が厳しくなっていくと推測するが、市町村の負担など今後の影響は」

【答弁】「市町村間において踏み込んだ協議はできていないが、消費税のインボイス制度への対応を含め、トータル的な検討が必要と考えている」

○事業No.77 南信濃福祉の里・上村デイサービスセンター運営事業について

【質疑】「特養遠山荘の施設改修工事費の660万円の内容は」

【答弁】「電話交換設備の改修で、基盤が古くなっており更新する。また、職員のPHS対応もあって高額な改修費を見込んでいる」

○事業No.80 介護人材確保対策事業について

【質疑】「これまでの初任者資格取得の支援に、ステップアップに必要な研修への補助事業を加えて35万円という予算計上であるが、人材確保としてどのような成果を求めていくのか」

【答弁】「これらの補助事業は、介護分野への就業や定着促進のための取り組みであるが、どのような支援が効果的か見定めているところである。介護事業者の施設運営に役立つ研修などを支援して

いくが、その予算規模は、今年度の実績から 20 万円程度の増で見込んだ」

○事業No.81 高齢者等住宅改修助成事業について

【質疑】「補助事業の予算額が昨年度対比で減となっているが、需要が減少しているのか」

【答弁】「市単独の高齢者等住宅リフォーム助成事業費は、これまで 50 歳以上を対象としてきたが、働き世代でもあり、資産形成と区分するため、高齢者が地域で安心して暮らし続けていける支援として、65 歳以上を対象に、福祉を目的とした改修への補助に制度を変更していく。これまで対象としていなかった床の腐りなどの改修費用にも補助していく」

【質疑】「これまで財源としていた地域雇用創出推進基金繰入金から、ふるさと基金繰入金とした理由は」

【答弁】「この補助事業は、地域雇用創出推進として地元業者の施工を基本としてきた。財源の地域雇用創出推進基金の減少により、ふるさと基金を財源とするが、その点是不変」

○事業No.83 在宅生活支援事業について

【質疑】「生きがいデイサービス事業によるフレイル予防への効果は」

【答弁】「通いの場は、要介護状態への進行の原因となる閉じこもりを防止することから、フレイル予防に効果があるとみている」

【質疑】「生きがいデイサービスの延べ利用者数の令和 4 年度計画値が、令和 3 年度対比で 300 人減の 800 人とした理由は」

【答弁】「介護保険制度の改正に伴いにより、生きがいデイサービス

の利用者も介護保険の地域支援事業へ移行しているため。生きがいデイサービスについては従前の取り組みを継続している団体で取り組んでいく」

【質疑】「生きがいデイサービス事業の予算額が令和３年度対比で減額となった理由は」

【答弁】「南信濃地区は、民間事業者事業参入、他事業の開始などにより、令和３年度末で事業終了とする」

○３款 民生費、１項 社会福祉費、９目 重層的支援体制整備事業費
事業No.91 地域介護予防活動支援事業について

【質疑】「フレイル予防における介護予防サポーター養成の事業効果をどのように見込むか」

【答弁】「介護サポーターの養成により、地域における通所Ｂ事業を推進し、１年１会場増やし、フレイル予防につなげたい考え」

○３款 民生費、２項 児童福祉費、６目 公立認定こども園費
事業No.105 病児保育事業について

【質疑】「延べ利用児童数の令和４年度計画値が、令和３年度対比 300人減の 500人としているが、予算額は同じで推移する理由は」

【答弁】「病児保育事業の運営体制は変更しないため」

○３款 民生費、２項 児童福祉費、７目 児童健全育成費
事業No.107 放課後子ども教室設置運営事業について

【質疑】「５つの小学校区で実施している放課後子ども教室の運営の支援として地域スタッフにかかる賃金を報償費で予算化し、上村

と南信濃は放課後子ども見守り事業補助金として支援する理由は」
【答弁】「運営の主体による違いによるものであり、放課後子ども教室では、運営に携わる地域スタッフに対して市が直接賃金を支払い、放課後子ども見守り事業では、その運営するまちづくり委員会などへ経費補助していくことになる」

○4 款 衛生費、1 項 保健衛生費、1 目 保健衛生総務費
事業No.121 千代診療所運営事業について

【質疑】「医師が退任されたあと、再開に向けて準備中との説明だが、再開の見通しは」

【答弁】「前任の医師の退任に合わせて、看護師や事務員も不在のため、その確保を推進していくが、現在のところ未定」

○4 款 衛生費、1 項 保健衛生費、3 目 成人保健事業費
事業No.126 市民の健康づくり事業について

【質疑】「口腔内の健康の取り組みとして 40 歳以上の歯周病予防の実施はよいが、もっと早い時期からの取り組みの検討は」

【答弁】「口腔衛生トラブルは 40 歳以上で急増することから、国も補助メニューを用意している。今回 40 歳からスタートし、他の世代は今後を検討する」

○10 款 教育費、2 項 小学校費、2 目 小学校教育振興費
事業No.254 小学校施設改修事業について

【質疑】「昨年においてプールの老朽化に伴う改修工事により授業ができないため、民間施設を利用した水泳授業が行われた経過があるが、来年度の見通しは」

【答弁】「施設の状況と学校からの要望により対応してきている。今後も学校と十分に協議調整し、適切な対応をとっていくが、民間施設を利用する予定はある」

○10 款 教育費、2 項 小学校費、2 目 小学校教育振興費
事業No.254 飯田型キャリア教育推進事業について

【質疑】「職場体験を受け入れる事業所数の計画値を、前年対比 80 減の 200 事業所とした経緯は」

【答弁】「今年度の実績見込みから計画したが、新型コロナの影響により大幅に減少しており、来年度に同程度まで回復が見込めないため」

○10 款 教育費、1 項 教育総務費、3 目 教職員住宅等管理費

【質疑】「民間の賃貸住宅の充実から老朽化した教職員住宅を順次解体するとの説明だが、施設改修工事費、及び施設管理業務委託の内容は」

【答弁】「施設改修工事費に含まれる教職員住宅の解体は、今年度 3 件から来年度 4 件を見込んでいる。また、施設管理業務委託は、植栽の管理や草刈り、解体時のアスベスト除去、境界確認などである」

○10 款 教育費、5 項 社会教育費、1 目 社会教育総務費
事業No.262 平和学習・人権教育推進事業について

【質疑】「飯田市公民館の平和記念資料館を（仮称）飯田駅前プラザへ移転し、高校生や若者を対象とした講座を開催するとの説明だが、小中学校人権・平和・多文化学習支援と高校生を対象とした平和・多文化学習講座開催の予算額に大きな差がある理由は」

【答弁】「小中学校を対象とした支援では、満蒙開拓記念館の見学にかかるバスなどの経費を補助し、高校生を対象とした講座は年8回程度の開催を見込むが、平和記念資料館の展示に触れた学び、歴史研究所のオーラルヒストリーを活用した学びを計画していくため」

○10 款 教育費、5 項 社会教育費、4 目 公民館費
公民館管理・運営費について

【質疑】「飯田市公民館の（仮称）飯田駅前プラザへの移転にともなって施設設備等借上料 3,600 万円などが新增となる予算案だが、財政事情が厳しいなか、どのように考えるか」

【答弁】「（仮称）飯田駅前プラザでは、飯田市公民館を中心に複合的な機能を持つ計画で、予算は公民館が一括して計上した。また、公民館の事務事業では、維持管理や改修事業を見直しながら移転するとともに、市民の多様な活動を支援する新たな取り組みも加わることを考慮した」

【質疑】「複合的な機能をもつ（仮称）飯田駅前プラザにおける公民館の費用を現在の公民館と比較できるのは、再来年の令和5年度か」

【答弁】「施設設備等借上料や施設維持管理などに対する費用は、この状況で推移する」

【質疑】「施設設備等借上料、いわゆる家賃の算定方法は」

【答弁】「一般的に、ビルのオーナーが賃料を算定する方法はいくつかあるが、借りる立場では、ビル経営に関する資料がないため手法は限られる。不動産鑑定額と近傍価格を基に、なるべく安価となるよう交渉した結果の金額である」

【質疑】「共用管理負担金、いわゆる共益費が家賃の 20 パーセントとした理由は」

【答弁】「共益費は、階段や廊下、出入り口やバックヤード、エレベーター、消防や防犯設備などの維持管理にかかる費用負担である。共益費の割合 20%は、当該施設が元商業施設の再生であることから、日本ショッピングセンター協会の全国平均と比較し、低い割合であると確認している。併せて、占用する公共空間の市が支払う維持管理費と共益費の総額について、市の類似的な施設の㎡単価と比較しても安価であることから妥当と判断している」

【質疑】「公共として（仮称）飯田駅前プラザを長期 20 年にわたって使用するとの説明だが、その理由は」

【答弁】「立地は、歴史と文化に支えられた人々が集まる交通の結節点であり、賑わいの中心地である。この場所は、飯田市だけではなく南信州圏域にとって、これからも賑わいの中心地として重要な場所であると考えている。その場所で飯田市公民館を拠点として活動していく。20 年という期間は、国が示す施設の長寿命化を行ってから次の改修までの一つの基準であり、20 年の契約をしていく。多くの市民の利用を見込んでいるが、特に高校生や若者を巻き込んだ活動をしていく」

【質疑】「まちの賑わいづくりや人材育成のための中長期的な契約については一定の理解ができるが、方針や状況がきちんと見えるように、議会への情報提供や市民に対する情報発信が重要になると考えるが、どうか」

【答弁】「（仮称）飯田駅前プラザへの移転による現在の飯田市公民館が利用できることについては、市の広報紙や報道などを通じて市民への周知をしてきている。移転した後にも周知をしていく

予定である。創発の場に関する情報伝達では口コミも効果的と考えている」

【質疑】「20 年という長期の契約について、その途中での見直しはあるか」

【答弁】「経済状況が大きく変わる場合や大規模改修が必要になるようなときに見直す」

【質疑】「そのような内容が契約に盛り込まれてくるのか」

【答弁】「契約はこれからになるが、そのような内容を盛り込む予定」

【質疑】「飯田市公民館の（仮称）飯田駅前プラザへの移転にあたって、市民への情報は分かりやすい内容であることを議会として求めてきているが、メリットやデメリットのような整理した場合、どうなるか」

【答弁】「これまでの飯田市公民館に、創発の場としての機能などが入ってくる点がメリットである。デメリットとしては、（仮称）飯田駅前プラザには客席型ホールを設けることができないため、これまで飯田市公民館、飯田市教育文化センターホールを利用されていた市民や団体の皆さんには、ご不便をかけるが、飯田文化会館をはじめ鼎文化センターなどをご利用いただきたい」

【質疑】「税金を投入していくという観点で、メリットやデメリットの比較はどうか」

【答弁】「公共施設として総合的な判断が重要になるが、民間施設に入ることから、施設借上料などコストのプラスが出てくる。（仮称）飯田駅前プラザには飯田市公民館以外にも小売業や営業所が入る予定であり、それらとの関係性を生かすとともに、公共フロアに設置する飯田市公民館や中央図書館分室、創発の場としての機能

など先行的でポジティブな取り組みを行って効果を出していく」

【質疑】「飯田市公民館の駐車場は、（仮称）飯田駅前プラザの地下部分、高羽町の元テニスコートなど3箇所を利用できるとの説明だが、その管理は」

【答弁】「個別に整備した駐車場を、利用者にとって利便性の高いものとなるよう、共同で利用し管理する方式とした。管理会社と飯田市を始めとするテナント全体で調整しながら運用していく。管理費は管理台数に応じて支払う」

○事業No.273 高校生等次世代育成事業における創発コーディネーターについて

【質疑】「創発コーディネーターの役割は」

【答弁】「創発コーディネーターは、（仮称）飯田駅前プラザにおける若者ならではの創発の活動を支援する」

【質疑】「どのような方が担うのか」

【答弁】「これまで地域において市民のつなぎ役をされてきた方を予定し、（仮称）飯田駅前プラザへの移転にかかる市民ワーキングに参加いただいた方に依頼する予定」

○事業No.276 公民館改修事業について

【質疑】「現在の飯田市公民館が（仮称）飯田駅前プラザへの移転後の、施設解体の見通しは」

【答弁】「解体のための基本設計を来年度に行うため予算計上した。解体のスケジュールは基本設計の結果による。また、解体後の敷地の利用等については白紙の状況」

○事業No.273 高校生等次世代育成事業における高校生講座について

【質疑】「参加人数を 15 人で計画している高校生講座の内容は」

【答弁】「これまでも取り組んできた海外研修のカンボジアスタディツアーで、昨年は新型コロナの影響によりオンラインにより実施した。来年度も現地研修が厳しい見込みのため、オンラインによる実施を予定し、予算は講師謝礼、インターネット通信にかかる経費を計上した」

○事業No.275 飯田コミュニティスクールについて

【質疑】「飯田コミュニティスクールへの理解を促進し、コミュニティスクールを推進するうえで、コミュニティスクールと親子学習の関係性は」

【答弁】「コミュニティスクールについては、学校運営協議会などの協議から、地域・家庭・学校の三者が一体的に取り組んでいく。親子学習は、公民館の親子体験教室などの取り組みで、地域で子どもたちの学びや成長を支えていく。子どもたちの学びや成長を支えていくうえでは、地域・家庭・学校の連携・協働が重要になる」

○10 款 教育費、5 項 社会教育費、6 目 美術博物館費

【質疑】「美術博物館プラネタリウム運営事業費のプラネタリウム番組制作業務委託料の内容は」

【答弁】「季節に合った番組を毎年導入しているが、令和4年度は星座の世界に関する番組など5本を予定しており、これまで制作した番組と合わせて上映していく計画である」

○10 款 教育費、5 項 社会教育費、7 目 文化会館費
事業No.288 文化会館等管理運営事業について

【質疑】「新文化会館建設の方針があるなかで、施設設備修繕の令和 4 年度予算 250 万円の内容は」

【答弁】「現在の文化会館は耐震工事を進めてきているところであるが、新文化会館建設までの市民等の活動を支援していくうえで、緊急的な修繕等に対応するため」

○事業No.292 川本人形美術館管理運営事業について

【質疑】「誘客のため観光公社と連携して継続的に営業活動を行うとの説明だが、予算措置と来年度の見通しは」

【答弁】「地域人形劇センター管理費の施設管理業務委託料として、指定管理業務に含めている。去年は新型コロナの影響により来館者が減少するとともに、地元のドライブインの撤退もあって観光流入も減少した。来年度も厳しい状況が予想される」

○事業No.290 人形劇のまちづくり事業について

【質疑】「『人形劇の世界都市・飯田』の魅力を発信するとの説明だが、これまで取り組んできた『小さな世界都市』の実現との違いは」

【答弁】「『人形劇の世界都市・飯田』としたのは、人形劇のまちづくりとして分かりやすく表現した。『小さな世界都市』は、都市としての具体的な機能などの定義はないが、リニアのまちづくりに合わせて、国際的な交流も視野にした目指す都市イメージとして使ってきている」

○10 款 教育費、6 項 保健体育費、4 目 学校給食費に関して、

【質疑】「事業No.学校給食運営事業について、有機野菜を使用した献立を試行するとの説明だが、どのような献立か」

【答弁】「具体的な献立については、生産者や流通業者との協議により決めていくが、まず1回試行してみたいと考えている」

○議案第 26 号

「令和4年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）」
の審査の経過について、審査の概要

○事業No.306 国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業について

【質疑】「健診の受診率を向上させるためのインセンティブの取り組みの内容は」

【答弁】「特定健診の受診を促進するため、これまでもインセンティブ事業に取り組んできた。インセンティブの具体的な内容は、抽選になるが市内食育店の利用クーポン券を配布する」

【質疑】「これまでの取り組みによる効果は」

【答弁】「これまでのインセンティブ事業では、市の健康増進施設『ほっ湯アップル』の入場券を配布してきたが、部局内で協議し、ほっ湯アップル入場券又は市内食育店を利用できるように見直した。インセンティブの効果分析は今後になる」

○議案第 34 号

「令和4年度飯田市病院事業会計予算（案）」の審査の経過について、審査の概要

【質疑】「令和３年度飯田市病院事業予定損益計算書では、医業損失を１０億２,５００万円余、経常利益は３億１,５００万円余と見込まれているが、令和４年度飯田市病院事業会計予算実施計画における病院事業収益と病院事業費用の差は６億４,０７０万円の損失を見込まれている。詳しく比較すると、国や県補助金の減少が大きく影響してようだが、その理由は」

【答弁】「令和３年度の予定損益計算書の県補助金は新型コロナにかかるもので、令和４年度当初予算には見込んでいない。令和４年度の国及び県補助金について、見込みのあるものを計上している」

○議案第 27 号

「令和４年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）」

議案第 28 号

「令和４年度飯田市介護保険特別会計予算（案）」、

議案第 32 号

「令和４年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）」

の以上３件に関しましては、特に申し上げることなし。